

松山市こども計画策定に係る 第3回こどもワークショップについて

令和7年1月30日

ワークショップの開催状況

▼ワークショップの開催

(1) 開催目的

アンケートの他に、子どもや若者などから直接意見を伺い、計画へ反映するとともに、子どもを対象としたワークショップでは、策定する「子ども計画」の子ども版を自らが作成し、子ども向けの周知・啓発も兼ねる。

(2) 開催概要

項目	子どもワークショップ	若者ワークショップ
対象者	小学5年生～高校3年生	大学生～概ね30歳まで
開催日時、場所	第1回: 令和6年7月28日(日)14時～16時 松山市保健所6階 中会議室 第2回: 令和6年8月25日(日)14時～16時 松山市保健所6階 中会議室 第3回: 令和6年12月21日(土)14時～16時30分 松山市保健所6階 大会議室	令和6年7月15日(月)14時～16時 松山市保健所6階 中会議室
ワークショップの内容	第1回: 子どもの権利 第2回: 自分にとっての居心地 ～未来のまつやまを描いてみよう～ 第3回: 「松山市子ども計画」で大事と思うこと、 松山市に求めること、 子ども版子ども計画の作成	子どもまんなか社会の実現に向けて、 若者自らが行動できることへの提言
実施報告書	https://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/kosodate/boshi/kodomokeikaku_work.html  第1回  第2回  第3回	https://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/kosodate/boshi/wakamono_workshop.html 

～開催状況の抜粋～

▼第3回こどもワークショップ

開催日時：令和6年12月21日(土)14時～16時30分

参加者：合計13名

ファシリテーター：一般社団法人WONDER EDUCATION 代表理事 越智 大貴 氏

＜テーマ：「松山市こども計画」で大事と思うこと、松山市に求めること＞

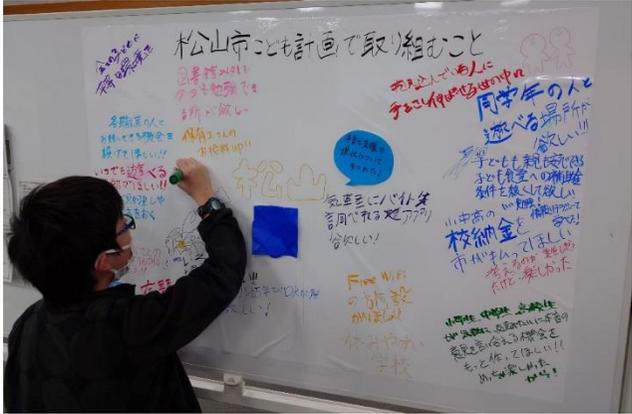
【参加者の意見(抜粋)】

基本方針	「松山市こども計画」で大事と思うこと	松山市に求めること
基本方針1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根差した仕組みづくりは、他の社会課題解決にも直結する。 ・大人の意見だけでは、こどもの楽しい社会は作れない。 ・次の社会を作るのは、こどもなので、良い社会にしていくために必要。 ・今のこどもからの意見を聞いていくことが大事。 ・今のこどもにしか分からないこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ学年の人と話したり一緒に遊べる場所と機会が欲しい ・先生に知られない意見を言える場がほしい。 ・意見を受け入れているという意思表示が欲しい。 ・こども主催のイベントを作る。 ・意見を伝えた後のフィードバックを学校にのせる。 ・こどもだけでできるような行事を増やしてほしい。 ・今回みたいな形式をとる会、こどもの話合いの場。
基本方針2	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強(宿題)を教えてくれる人や、友達と自由に遊べる場所があった方が、生活が充実すると思うから。 ・安心、安全な居場所があると、家以外で心が休められるから。 ・保育士の負担を減らすと、保育の質が良くなると思う。 ・良い環境でないと、質の良い勉強や人間関係が形成されないと思うから。 ・誰かに頼ることで、心身が安定すると思うから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館などに、こどもが入りやすいカフェを作ってほしい。 ・家以外で寝れる場所 ・休みやすい学校 ・ボール遊びできる公園を色々なところに ・静かで、1人で勉強ができる、お金のかからない場所がほしい。 ・こどもだけで行ける、安全な場所があるといい。

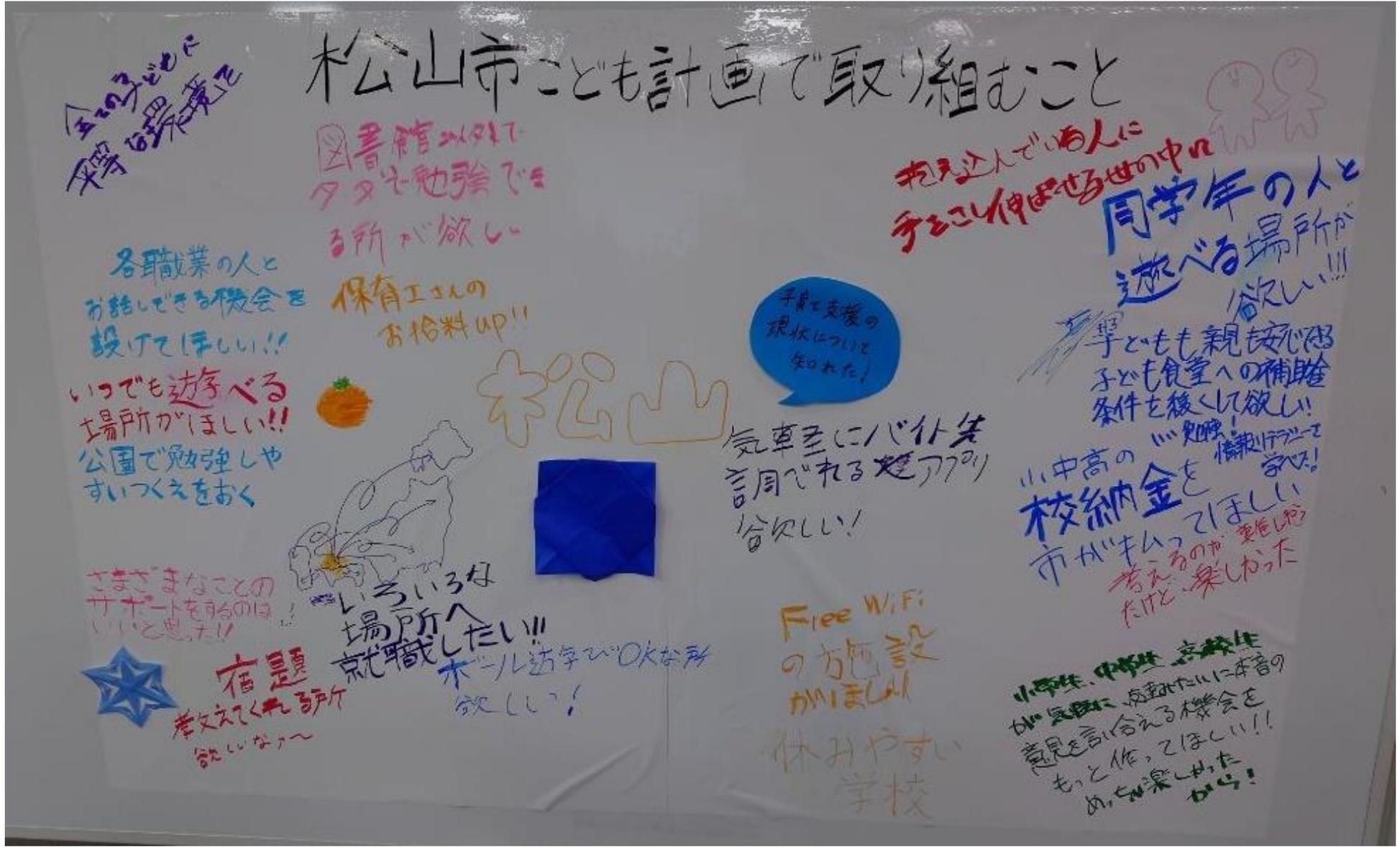
基本方針	計画で大事と思うこと	松山市に求めること
基本方針3	<ul style="list-style-type: none"> ・環境は選べるものではないので、支援によって平等にするべき。 ・いろいろな機関の中での連携で困難なことを解決できるから大事！ ・いじめを無くすには、相談できる学校以外の場所があると安心だから大事！ ・貧困や障がいのある親族の世話などの負担を軽くし、充実した生活を送るためにも重要だと思うから。 ・虐待、犯罪によって、心が傷ついたりすると一生治らないかもしれないから、大切だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめをおこさない雰囲気 ・身近に相談、世間話ができる場所LINEがあれば良い。(匿名で) ・専門的な知識を身近に得られる環境作り。 ・自分の状況からどんな進路があるのか具体的に相談できる場。 ・中高生がリアルな日常を共有できる機会。授業時間とか。 ・障がいがある人も、健康な人と同じ学校で一緒に行けるようにできる学校が欲しい。 (同じように接してほしい。)
基本方針4	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人達の選択肢を増やして未来への希望を絶えないようにするため。 ・自分で踏み出せないあと一歩を誰かに相談することで踏み出せることもある。 ・縁を作ってくれる場所があるのはいいと思う。 ・妊娠・出産期の面接を行うことによって、不安が少し和らぐ。 ・自分の将来へ進むための不安が話せると安心できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就職するまでにお金がかさぐさかかるとの支援。 ・各職業の人と直接お話しできる機会を設けてほしい。 ・気軽に近くの働き場を探せるアプリがほしい。 ・就活や出産など経験者から聞ける場、まとめサイト。 ・サポート概要を知れる講座などを学校で広く周知開催。 ・同じ境遇(ママ友、パパ友)の方とのイベントを周知してほしい。(もっと！)YouTubeの広告、テレビのCM ・将来について相談できる場所を公園などに作って。

基本方針	計画で大事と思うこと	松山市に求めること
<p>基本方針5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てをする人がサポートされて不安・課題が解決することで、こどもも幸せになると思うから大事。 ・(父)母親一人と市だけでなく、同じような境遇の(父)母親が集まれる機会を設けると共感や安心が生まれるのではないか。 ・経済的にも精神的にも支援しているので大事だと思った。 ・「子育て」って大変だと思うから、子育てを楽しめる環境づくりは良いと思う。 ・ひとり親家庭のために相談や支援をされていて良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市で「ママ友アプリ」をつくる。 ・助成金の金額を引き上げる。 ・育休・産休の取りやすい労働環境づくり。 ・こどもの体調が悪くなってしまったりしたときに簡単に頼ることのできる機関を設けて欲しい。 ・経済的なものと心理的な支援の充実してほしい ・保育士を増やして、受け入れるこどもが増えたらいいな。 ・育休は、休めるわけじゃないと思うので、親が育児から休める日があるといいのかな？

【当日の様子】



～こどもたちが作成した「こども版こども計画」～



※今回のワークショップで作成した「こども版こども計画」を、そのまま活かして、こどもたちなどへPR冊子とする予定。

<参加後アンケート:13名中11名回答>

- ①参加した満足度:100.0%
- ②今後も同様のワークショップへ参加希望度:91%

<参加者の声(抜粋)>

- ・いろいろな意見がきけた。職員さんともお話できた。
- ・私たち関連のことについて詳しく知って、皆で話しながら意見を出すのが新鮮で楽しかった。最初、自分で理解して意見が言えるか不安だったけど、皆とたくさん話すことができて意見も出しやすい雰囲気があって楽しかった。
- ・小中高生がフランクに意見できる場が初めてで、楽しく充実した時をおくれた。
- ・自分の意見を気軽に発言できた。もっとこういう活動が増えたらいいと思う。
- ・班の人達と一緒に活動できて、よかったです。
- ・最後のホワイトボードに自分の意見を書いたりしたのが楽しかったです。いろいろな人と交流できて良かったです。
- ・いろいろな学校の人と、話し合えて、楽しかったし、勉強になった。いろいろな人の意見を聞いて楽しかったです。
- ・色々なテーマを異なる年の人と話し合うことで新たな気づきを得られた。
- ・こども主体で行うことによって、こどもオリジナルの意見が出てきて、ジャンルも様々で考えている意見が出てきていたので良かった。
- ・考えが深まった。同じくらいの歳の人と共感し合えた。自分自身の考えを深め、受験にも役立出ることができる活動にすることができた。
- ・自分の意見をまとめながら他の人の意見も聞くことが出来た。よかったですとても。

こども
まんなか